

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2 年 3 月 10 日

事業所名 キッズ・レインボー

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用者数に応じて室内外のスペースを柔軟に活用している	身体活動が十分できるよう毎週1回程度市民プラザと小学校の体育館でエアロビクス等を行っている
	2	職員の配置数は適切である	○		常勤、非常勤のバランスに配慮し、余裕のある配置の維持に努めている	公認心理師や養護教諭など専門職の配置をしている
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		生活場面全体の構造化を図り、利用者がわかりやすいよう視覚支援を重視した環境を整えている	建築関係技術経験者を中心に改修と改善を図っている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		手洗い、うがいなど基本的な生活習慣の定着を重視している	清潔な環境を保つため、清掃と整理整頓などに留意している
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		朝礼と終礼の打ち合わせで、業務改善を積み上げている	長期的課題、大きな課題は職員会議で協議して実行に移すなど、絶えず改善を心掛けている
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		定期的にアンケートを実施し、「保護者のつどい」で把握し業務改善に反映	保護者の意向を相談支援事業担当者さんに聞いていただき保護者のニーズや本人のニーズを反映している
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページ及びNPO法人 門真市手をつなぐ育成会の会報に情報公開している	保護者の評価結果を反映し支援の質と向上と評価項目の工夫と改善を図ります
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		大阪府や門真市の研修、機関支援を受け、業務改善に活かしている	年々事務処理に要する時間が大きくなるので、当面効率的に事務処理を行う方策の検討を始める
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		大阪府、門真市、育成会などの研修に順次参加し、所内で伝達講習をしています	研修後の事業所内研修を非常勤を含め定期的に行います
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		ご家庭からも情報提供を受け個別支援計画作成時には必ずアセスメントを実施している	WISC,新版K式などの検査結果はご家庭を通じて提供していただく

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	ご家庭からの聞き取りと事業所での行動観察等の結果を利用	S-M社会生活能力検査項目でのチェックで補足する
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		ガイドラインに従って一人ひとりのニーズに応じ具体的な目標設定に努めている	利用者本人及びご家族の希望に可能な限り添えるよう具体的な支援内容の設定に努める
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		療育全体を通じて個別的配慮に努めている	支援機関からも支援方法のアドバイスをいただいている
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		管理者と支援員の意見を交え作成している	個別支援計画に基づき、個々の成長につながるプログラムの立案を工夫する
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		多様なプログラムの実践に努めている	季節性や学校行事にも配慮し、変化をつけるように配慮している
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		設定療育は集団活動に、自由遊び等は個別的活動に位置づけている	発達段階等も考慮し小集団での活動を大切にしている
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼で毎日その日の送迎配車、支援内容と役割分担などを文書で示し確認している	利用者数、職員体制、支援内容など、管理者を中心にめれない体制づくりに努めている
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼で一日を振り返り、情報を共有し、次に活かすよう努めている	翌日の支援活動内容・準備を効率よく行う
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		ご家庭へは記録票で報告し、写しを事業所で検証し改善に活用する	個々の支援員の記録も全体に反映できるよう情報共有し課題を明確にする
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的実施し、6か月以内でも柔軟に対応している	成長発達の状況や家庭環境の変化に応じて柔軟に対応するため関係機関との連携を深める	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		管理者と複数で参加し、的確な情報交換に配慮している	関係機関の担当者間の連携と情報交換を重視している
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		関係する機関と連携して情報を相互に提供し合い、支援に活かしている	関係機関が相互に情報提供をお願いでき、連携が深まることを願っている
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			対象となる利用者はありません	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			対象となる利用者はありません	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行期は特に関係機関との連携を密にし、相互理解に努めている	必要に応じて連携をしていましたが、定期的に情報の共有を図っていきます
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		事業所と保護者から情報提供に努めている	入学予定の学校との連携を深めるため、相互理解に努めている
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		積極的に研修に参加し、専門的な助言を受けている	専門機関との連携を広げるように努めていきます
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		地域の小学校との交流行事に参加し、交流活動を毎年実施している	今年度は支援学校PTA主催の夏祭りのお誘いをいただき参加しました
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		関係機関の委員会に理事長が参画している	理事長が育成会役員で、府全体の情報を得ると共に、研修講師として障がい理解等について報告する機会がある
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日常的に情報共有し、「保護者のつどい」で、保護者間の共通理解にも努めている	活動場面の映像を「保護者のつどい」で上映し、自由に意見交換して相互理解に努めている
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		家族支援、特にペアレント・トレーニングを重視している	家族支援・ペアレント・トレーニングのファシリテーターを中心に保護者支援を行い、必要に応じて関係機関の研修への参加を促している	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約当初に詳しく説明し、状況の変化に応じて再度補足説明を行う	現行の規定の中で改定を要する内容の有無の検討を進める
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		支援計画を示し、各項目とそのねらいを説明して同意を得ると共に、状況の変化等に応じていつでも変更できることを丁寧に説明している	個別支援計画が本人の希望に沿うよう自己評価に努めます
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		公認心理師と相談支援経験者や療育経験者が協力して支援している	大阪府及び全国組織と連携したNPO法人 門真市手をつなぐ育成会等の情報を得て、助言や情報提供などの支援をさらに充実する
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		「保護者のつどい」や育成会行事などを通じて、保護者間の交流を支援している	育成会会員であるかどうかにかかわらず、可能な限り相談・情報提供などの支援を続ける
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		法令等へのとおり、苦情解決担当者を定めて対応し、相談はいつでも受け付けている	公認心理師を配置し、申し込みがあれば家庭や学校を訪問している
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		会報「にじいろだより」、ホームページ、「保護者のつどい」で発信している	事業所独自の機関紙が発行できないかの検討
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		大阪府個人情報保護条例や規定を順守する	定期的に保護条例、職員行動指針を再確認する
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		多様な手段でコミュニケーションを深めるよう配慮している。	LINEを通じてのコミュニケーションも活用している
保護者への説明責任等	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		事業所から地域の行事に参加するなど、交流に配慮している	地域のお祭りなど交流できる機会を見つけて事業所への招待を図ります

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		防災・防犯、発作、誤嚥、緊急蘇生法等のマニュアルを策定し周知している	定期的の確認及び見直しをしているが、実技講習が課題である
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		防犯の研修と避難訓練を実施している	門真市等の防災指針の動向を踏まえ、指定された避難場所への避難訓練などを定期的実施する
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		初回面談時に聞きとり、個人表でも確認する	定期的の確認・更新し投薬の変化など、もれなく把握する
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		該当者はありません	今後とも必要に応じて、医師の指示書やマニュアルに従って対応します
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事業所内で情報共有し「保護者のつどい」でも報告している	安全安心を基本に事故の防止に万全を期すよう努めている
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		大阪府や育成会本部の研修を受講し伝達講習を実施	人権意識を向上するため、積極的に研修の機会を設ける
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束はしないことを徹底している。(送迎車内のシートベルト着用は完全にできている)	今後とも保護者との連携を図り、法令の趣旨の理解を深めていきます

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。